

MS&ADラムサールサポーターズ

団体名：MS&ADインシュアランスグループ

連携主体：環境保全財団、小学校、各地のNPO

事業の概要

- 本プロジェクトは、ラムサール条約登録湿地等の水辺の生物多様性保全活動です。社員とその家族が参加し、外来種の駆除、清掃活動や生き物調査などを行っています。また、同条約は環境教育の推進が求められており、2013年度から、映像を組み合わせた45分間の出張授業を開始しました。
- 今後は、活動する湿地や参加者数を増やししながら、出張授業を通じて、子どもたちにも活動の輪を広げていくことを目指します。今年度は、出張授業に活用する冊子および教育プログラムのインターネット上での提供をめざし、環境教育をより積極的に推進していきます。
- 関連する愛知目標 1、9、12、14、19
- URL <http://www.ms-ad-hd.com/ramsar/>



認定のポイント

- ①多様な主体の連携
各地の湿地を保全するNGO、自治体や一部小学校などとの連携協働している事業です
- ②取組の重要性
外来種対策など幅広い取組みによる、湿地に焦点を当てた生物多様性の保全と同時に、環境教育を通じ、湿地の役割とその保全の重要性の理解や、賢明な利用の推進の効果が期待されます。
- ③取組の広報の効果
参加者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されるほか、出張授業、ホームページ上での冊子や教育プログラムの提供により、他の主体でも同様の活動が行われるようになることが期待されます。

森と命を繋ぐアニマルパスウェイの開発と普及

(樹上性野生生物の保全)

団体名：アニマルパスウェイと野生生物の会（アニマルパスウェイ研究会事務局）

連携主体：NGO、大学、地方自治体、企業（建設業、コンサルタント業、IT企業等）

事業の概要

- 本プロジェクトは、私達が便利に利用する道路などの連続する構造物で分断された森林に生息するニホンリス、エゾリスあるいはヤマネなどの樹上性野生動物のロードキルから回避、遺伝子の多様性保全に資するために、アニマルパスウェイ（人工的な移動経路）を開発・普及を行っています。
- 今後は、道路管理者である自治体や道路利用者である企業や一般市民への啓発PR活動や問題を共有する関係者のネットワーク化とともにアニマルパスウェイ設置場所の選定ツールの開発、自治体への働きかけなど具体的な普及活動を実施して参ります。
- 関連する愛知目標 1、12、17、19
- URL <http://www.animalpathway.org/>



認定のポイント

- ①多様な主体の連携
アニマルパスウェイ研究会の事務局として、複数の事業者や民間団体（キープ協会やまねミュージアム、経団連自然保護協議会等）、関西学院大、帯広畜産大、自治体（北杜市等）と連携協働して事業推進。
- ②取組の重要性
ロードキル対策ならびに樹上性動物の遺伝子の多様性保全の効果が期待されると共に、事業資源の安定的な確保のため、企業・団体連携体制が整備されている事業です
- ③取組の広報の効果
参加者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されるほか、本ミチゲーション技術の活用が行われるようになることが期待されます。

環境出前授業「地球1個分で暮らすために」プロジェクト

団体名：富士通株式会社

連携主体：WWF ジャパン、小中学校

事業の概要

○本プロジェクトでは、「地球1個分で暮らすために」どうしたらよいかを考えてもらい、行動を起こすきっかけ出前授業（WWFジャパンと協働で開発）を子供たち一人1台のタブレットPCを導入しとする環境、全国で展開しています。

○今後は、さらに多くの社内講師を養成し、環境出前授業の実施校の拡大、参加者の増加を目指します。また研究会などでの実施により、生徒のみならず、教師への生物多様性保全の啓発にも努めていきます。

○関連する愛知目標 1、4、5、6、7

○URL <http://jp.fujitsu.com/about/kids/pc3r/education/>



認定のポイント

①多様な主体の連携

NGOや教育機関などとの連携協働している事業です

②取組の重要性

ライフスタイルの視点から生物多様性を含む多彩な視点での環境教育の推進とその全国展開による生物多様性保全への具体的な効果が期待されます。

③取組の広報の効果

参加者の増加により事業効果のさらなる向上や、他の事業者でも同様の活動が行われるようになることが期待されます。

自然観察指導員の養成

団体名：公益財団法人日本自然保護協会

連携主体：地方公共団体、企業、NGO、市民団体、大学等

事業の概要

- 本プロジェクトは、地域に根ざした自然観察会を開き、自然を自ら守り、自然を守る仲間をつくるボランティアリーダーである自然観察指導員を養成する事業です。養成講習会・フォローアップ研修会開催や、活動を促すキャンペーン企画実施、会報『自然保護』やメールマガジンによる情報提供を行い、地域の自然を守る人材を育てています。
- 今後は、さらに多様な人を巻き込む工夫、広く一般の方が生物多様性の価値を実際の体験を伴って認識できるような指導員活動支援の強化、地方自治体や企業、市民団体等多様な団体との連携強化に注力します。
- 関連する愛知目標 1、5、9、10、12
- URL <http://www.nacsj.or.jp/sanka/shidojin/>



認定のポイント

- ①多様な主体の連携
事業者、地域住民、自治体、NPOなど、多岐にわたるセクターが連携し、地域における連携協働を促進する効果が期待される事業です。
- ②取組の重要性
自然観察・環境教育・モニタリング・保護活動の担い手の全国的な育成を通じて、生物多様性の普及啓発・保全や、地域の環境活動の推進に対して具体的な効果が期待されます。
- ③取組の広報の効果
参加者や支援者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されます。

外来種駆除等環境保全活動

団体名：一般社団法人日本旅行業協会

連携主体：環境保全財団、NPO法人、地域の活動団体等

事業の概要

○本プロジェクトは、自然を観光資源としている観光地に赴き、自然資源の保全、意識向上を目的として、外来植物等の駆除活動をはじめ、清掃美化活動など幅広い内容で環境保全活動を旅行業界全体の取り組みとして実施しています。

○今後は、各地域の団体等と環境保全活動に関する事例収集を行い、外来種駆除活動を継続させ、観光と環境の両立に向けてツーリズムにおける環境への意識を高めてまいります。

○関連する愛知目標 9, 14

○URL http://www.jata-net.or.jp/about/contribution/protection/h25knkhzn_repo.html



認定のポイント

①多様な主体の連携

事業者、地域住民、自治体、NPOなど、多岐にわたるセクターが連携している事業です。

②取組の重要性

参加者、地域住民が一体となって行う活動を通じて、生物多様性の普及啓発や、地域の環境に対する理解向上などに対して具体的な効果が期待されます。

③取組の広報の効果

地域自治体・団体が地域活性化を期待するエリアで自然資源や生物多様性の恵みに対する理解促進などの活動を行っているため、これらの連携による参加者の増加や事業効果の更なる向上が期待されます。

電機・電子LSBプロジェクト

団体名：電機・電子4団体環境戦略連絡会生物多様性ワーキンググループ

事業の概要

- 本プロジェクトは、電機・電子業界の生物多様性保全活動の推進支援を目的としています。教育・啓発ツール(LSB)の開発や先進的取組の事例集作成、各社の保全活動と愛知目標との関連性を示すこと等を通じて、企業活動と生物多様性との関係性に関する理解や保全活動の促進を行っています。
- 今後は、電機・電子業界の生物多様性保全活動の底上げと活性化のために、2020年に向けた中長期活動戦略を策定する他、セミナー開催・LSBを活用した出張授業等により、更なる普及啓発活動を実施していきます。
- 関連する愛知目標 1、17、19
- URL <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/env/biodiversity.html>



認定のポイント

- ①多様な主体の連携
セクター内での生物多様性保全活動の推進、連携・協働を促進する効果が期待されます。
- ②取組の重要性
業界の事業特性を活かした学習キットの活用を通じ、企業CSRによる取り組み、事業活動における生物多様性の組み込みの推進を支援する効果が期待されます。
- ③取組の広報の効果
業界の特徴を活かした生物多様性の関係把握ツールの制作という先進性があり、他の業種における同様の活動が行われるようになることが期待されます。

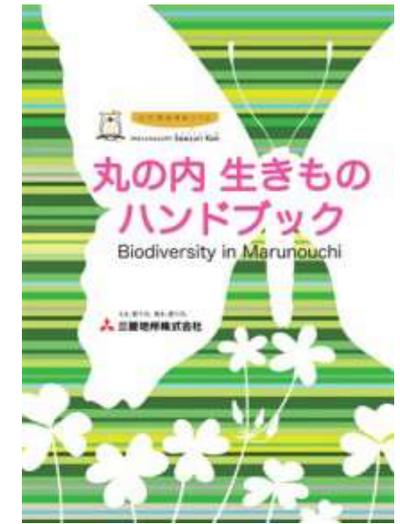
丸の内地区における生物多様性モニタリング調査と 「丸の内生きものハンドブック」の発刊

団体名：三菱地所株式会社

連携主体：NPO法人生態教育センター

事業の概要

- 本プロジェクトは、三菱地所株が、2009年より、NPOと協働して実施している、丸の内地区（東京都千代田区大手町、同丸の内、同有楽町地区）の生物多様性保全に向けた生き物モニタリング調査です。2013年6月には、この調査結果を纏めた小冊子「丸の内生きものハンドブック」を発刊し、エリアの就業者、来街者を対象に配布しています。
- 今後は、皇居、日比谷公園等、良好な自然に隣接する同地区の立地を活かし、周辺環境との人と生物が共生できる環境づくりを目指すと共に自然保護、環境保全に向けた啓発活動を続けていきます。
- 関連する愛知目標 1, 9, 17, 18, 19



認定のポイント

- ①多様な主体の連携
NGOとの連携協働している事業で、地域における活動推進を促進する効果が期待される取組みです。
- ②取組の重要性
モニタリング調査・環境教育の実践に加え、活動紹介地域の環境の理解促進につながるツールの制作・広報に力を入れている事業です。都市開発を通じた価値創造という事業活動に繋がる取組みとなっています。
- ③取組の広報の効果
他の事業者や、他地域での同様の活動の波及が期待されます。

生き物賑やか河北潟プロジェクト

(田んぼ10年プロジェクト)

団体名：特定非営利活動法人 河北潟湖沼研究所

連携主体：河北潟関連自治体、農業団体

事業の概要

- 本プロジェクトは、水田等に生育・生息する動植物の危機についてまとめた「河北潟レッドデータブック」の普及、協働による米づくりの推進と生物多様性認証による無農薬・減農薬生場の拡大、生物多様性認証、市民と農家の協働による外来植物の除去に取り組むものです。
- 今後は、生物多様性認証制度の普及により、生きもの元気米の取り組みの拡大と田んぼ毎のトレーサビリティの実現、地域の諸団体と連携した「河北潟自然再生まつり」の開催、田んぼの農薬使用に関するシンポジウムの開催を予定しています。
- 関連する愛知目標 1、4、8、9
- URL <http://kahokugata.sakura.ne.jp>



認定のポイント

- ①多様な主体の連携
自治体や農業団体などとの連携協働している事業です。
- ②取組の重要性
環境教育、生物モニタリング、外来種駆除、生物多様性認証米の推進を行っており、生物多様性の保全・向上や持続可能な利用に具体的な効果が期待されます。
- ③取組の広報の効果
参加者の増加により事業効果のさらなる向上が期待されます。

穂の国森の出前授業&野外授業

団体名：穂の国森づくりの会

連携主体：林野庁、愛知県、豊川市教育委員会、豊橋木材商工協同組合

事業の概要

- 本プロジェクトは、愛知県内で森林率が高い東三河地域において、生物の貴重な生息域である森林の保全、育成、再生の重要性を子どもたちに伝えることを目的に、小学校5年生を対象にした出前授業や森林観察の案内を自治体や他団体と連携しながら行うものです。
- 今後は、他の行政機関や他団体との連携を強化しながら事業を拡大していく予定です。特に地元の企業と連携することにより、安定的な事業予算を確保し、出前授業と野外授業の実施校数の拡大、講師となる人材の育成を強化していきます。
- 関連する愛知目標 1, 7
- URL <http://honokuni@honokuni.org/>



認定のポイント

- ①多様な主体の連携
自治体や教育機関などとの連携協働している事業です
- ②取組の重要性
野外屋内両方での環境教育活動を通じた生物多様性保全への具体的な効果が期待されます。
- ③取組の広報の効果
参加者の増加により事業効果のさらなる向上、他地域での同様の活動の波及が期待されます。

にじゅうまるプロジェクト四国

団体名：四国生物多様性ネットワーク

連携主体：四国NGO，行政等

事業の概要

○本プロジェクトは、生物多様性の保全活動を行う様々な主体の連携を推進し、科学的知見や経験の共有を図り、普及啓発や調査研究活動などの実践的な取り組みを支援し、四国地域の豊かな自然環境の保全、自然と人が調和した社会基盤の構築を目指します。

○今後は、四国各県で策定あるいは策定されようとしている地域戦略の実施・支援を行い、四国あるいは周辺地域での生物多様性に関する取り組みの活性化を推進し、人材の育成や情報の共有や活用（四国生物多様性会議の継続）を活性化していきます。

○関連する愛知目標 1

○URL http://www.geocities.jp/shikoku_4cbdnet/



認定のポイント

①多様な主体の連携

NGOや自治体など、多岐にわたるセクターが連携し、また、四国各県をまたぐ連携協働を促進する効果が期待されます。

②取組の重要性

四国各県における生物多様性の取組みの活性化や、地域戦略の実施・支援等の活動の推進を支援する効果が期待されます。

③取組の広報の効果

県を越える協働・連携の事例として、他の地域でも同様の活動が行われるようになることが期待されます。